

# 食品リサイクル肥料の利用促進の取組み

株式会社 パブリック



PUBLIC-G.COM

# 会社概要

|        |                                                    |
|--------|----------------------------------------------------|
| 商号     | 株式会社 パブリック                                         |
| 本社所在地  | 香川県観音寺市大野原町福田原 2 4 1 番地 1                          |
| 会社設立   | 昭和 4 8 年（1 9 7 3 年） 5 月                            |
| 事業内容   | 一般廃棄物収集運搬業・処分業<br>産業廃棄物収集運搬業・処分業<br>特別管理産業廃棄物収集運搬業 |
| グループ年商 | 4 5 億円                                             |
| 従業員数   | 2 9 0 名（パート・アルバイト含む）                               |
| グループ企業 | 有限会社 丸亀リサイクルプラザ<br>有限会社 ヴェイン<br>有限会社 サンクリーン 等      |



# 事業説明

パブリック・グループは、四国でいち早く有機性廃棄物のリサイクルに取り組み、現在もリサイクル・ループ構築に貢献しています。

## 許可等

(有)丸亀リサイクルプラザ ((株)パブリック グループ企業)

・ 三豊オーガニックステーション

選別処分 (40 t / 日) (16t/日) ①汚泥 ②廃油 ③廃酸 ④廃アルカリ ⑤廃プラスチック類  
⑥動植物性残さ ⑦金属くず ⑧カラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず  
堆肥化処分 (36t/日) ①汚泥 ②廃油 ③廃酸 ④廃アルカリ ⑤木くず ⑥動植物性残渣  
⑦動物のふん尿

発酵乾燥処分 (6.94t/日) ①汚泥 ②廃油 ③廃酸 ④廃アルカリ ⑤木くず  
⑥動植物性残さ ⑦動物のふん尿

一般廃棄物処分許業 (20t/日) ①動植物性残さ (21-7-045)

農林水産大臣・環境大臣登録再生利用事業認定 (2015年11月)

・ 満濃工場

破碎処分 (16t/日) ①動植物性残さ

堆肥化処分 (20t/日) ①汚泥 ②廃油 ③廃酸 ④廃アルカリ ⑤木くず ⑥動植物性残さ  
⑦動物のふん尿

農林水産大臣・環境大臣登録再生利用事業認定 (2004年10月)

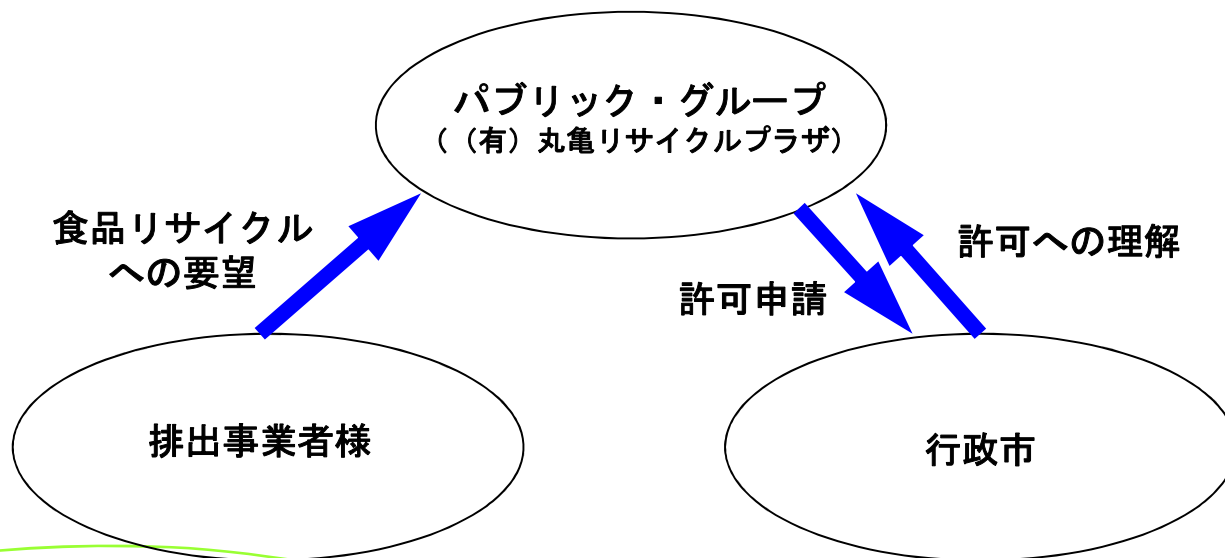


# 食品リサイクル肥料を作るきっかけ

H12年、循環型社会形成推進基本法成立以来、弊社は全ての廃棄物をリサイクルする方針できた中、食品リサイクル法が成立し排出事業者の皆様が食品リサイクルが出来る企業を待望していたため取り組みをすることを検討していった。

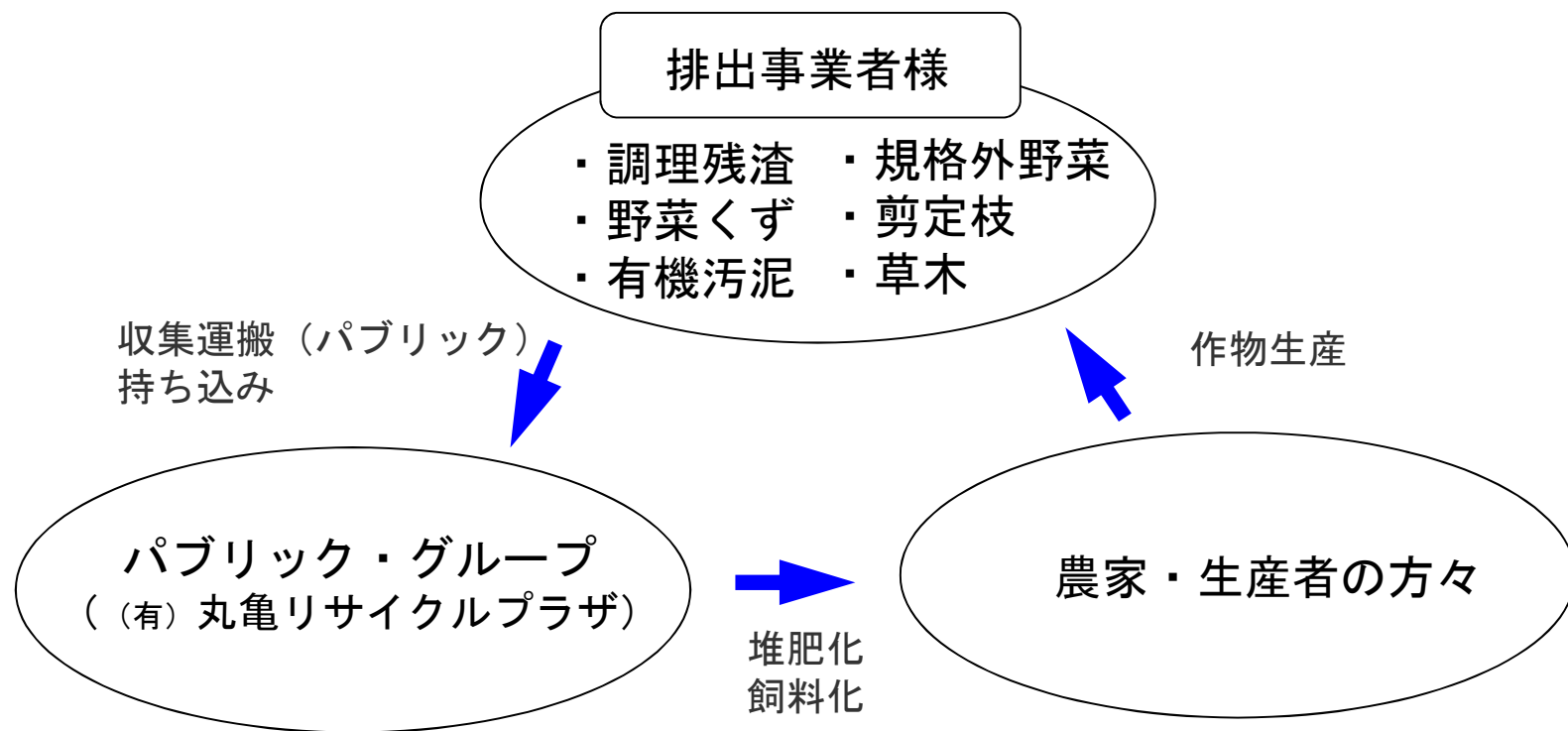
堆肥製造業者と相談し、原料として利用することが可能であることが分かった。

「排出事業者様の強い要望」と「行政市の一廃処分への許可への理解」と「弊社の方針」がうまく重なり合ってスタートを切ることが出来た。



# リサイクル・ループの構築

リサイクル・ループとは、有機性廃棄物を排出する排出事業者が、有機性廃棄物の再生利用を飼料化・肥料化事業者に依頼し、これらの飼料や堆肥を利用して生産された農畜産物を当該食品関連事業者が購入・販売するという仕組みである。



参考資料：食品リサイクル法の見直し 国立国会図書館 No. 583 (2007)



# 処理工程

原料受入



前処理



一次発酵



袋詰め



篩



熟成発酵



# 事業フロー・実績

## 食品系有機廃棄物

- ・調理残渣
- ・野菜くず
- ・有機汚泥など



約4,500 t / 年

約3,600 t / 年

約3,600 t / 年

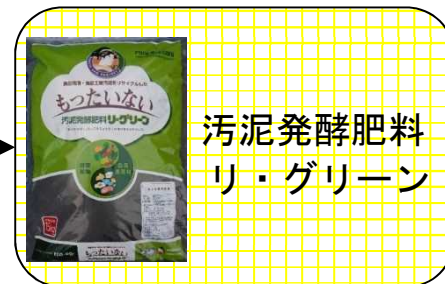


### 選別

約900 t / 年



### 堆肥化 (満濃工場)



### 汚泥発酵肥料 リ・グリーン

- ・法人農家様販売
- ・パブリック店頭販売
- ・園芸店、小売卸

約2,000 t / 年



### 汚泥発酵肥料 汚泥ゆうき



### 堆肥化

(三豊オーガニックステーション)

約1,500 t / 年

- ・廃プラ (固形燃料)
- ・飼料
- ・有価物

有機チップ  
(中・小)

剪定枝  
草木



PUBLIC-G.COM

# 脱臭対策

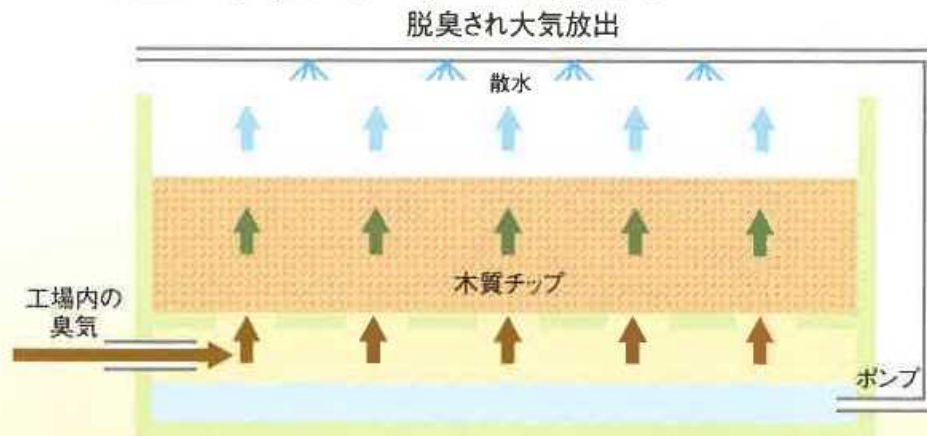
バイオフィルターは、臭いを含んだ空気が木質チップ層を通過することにより、吸着されたり、微生物に分解されることで脱臭が行われる。

木質チップの周囲には生物膜（バイオフィルム）が形成され、臭いをエサとして微生物がさかんに呼吸＝酸化分解を行います。

木質表面の酸化生成物は、上部からの散水により洗い流されます。この水は循環していますので、絶えず微生物による分解が行われます。



## ■ バイオフィルターの仕組み



# 取組み事例①

## ・香川県リサイクル製品認定（香川県知事）

環境への負担の少ない循環型社会を形成していくために、廃棄物の発生抑制やリサイクルを推進することが重要となり、香川県では、リサイクル製品の普及と事業者の環境配慮行動の促進を図ることとして設けられています。



認定番号 第 53 号

香川県リサイクル製品認定証

丸亀市土器町二丁目17番  
有限会社丸亀リサイクルプラザ  
代表取締役 三野 利代子

香川県環境配慮モデル普及促進要綱第3条第5項の規定により、  
認定を受けた香川県リサイクル製品であることを証する。

香川県知事 浜田 恵造

|             |                                                                        |
|-------------|------------------------------------------------------------------------|
| 認定年月日       | 平成30年 1月25日                                                            |
| 認定の有効期限     | 平成33年 3月31日                                                            |
| 品目名         | 食品循環資源と食品工業汚泥を利用した堆肥                                                   |
| 製品名         | 食品汚泥ゆうき                                                                |
| 原材料となる循環資源名 | 動植物性残さ・汚泥（食品汚泥、排水汚泥）、<br>廃油（廃食油）・廃糖（飲料用）・廃アルカリ<br>（飲料用）・草木（剪定枝）・動物のふん尿 |
| 認定条件        | なし                                                                     |



認定番号 第 54 号

香川県リサイクル製品認定証

丸亀市土器町二丁目17番  
有限会社丸亀リサイクルプラザ  
代表取締役 三野 利代子

香川県環境配慮モデル普及促進要綱第3条第5項の規定により、  
認定を受けた香川県リサイクル製品であることを証する。

香川県知事 浜田 恵造

|             |                                                                        |
|-------------|------------------------------------------------------------------------|
| 認定年月日       | 平成30年 1月25日                                                            |
| 認定の有効期限     | 平成33年 3月31日                                                            |
| 品目名         | 食品循環資源と食品工業汚泥を利用した堆肥                                                   |
| 製品名         | リ・グリーン                                                                 |
| 原材料となる循環資源名 | 動植物性残さ・汚泥（食品汚泥、排水汚泥）、<br>廃油（廃食油）・廃糖（飲料用）・廃アルカリ<br>（飲料用）・草木（剪定枝）・動物のふん尿 |
| 認定条件        | なし                                                                     |



# 取組み事例②

## 株式会社中津屋産業との連携

肥料製造・販売業

従業員数：8名

主要取引先：JA香川県  
四国内ホームセンター  
各肥料問屋

年間販売量：約1,200t



# 取組み事例③

## パブリック・オーガニックファーム



弊社が食品リサイクルで製造している、汚泥発酵肥料リ・グリーンの試験農場としてエコでオーガニックな農場を2009年より始めました。

出来た作物を、健康交流施設「萩の湯」に出荷し、産直市として販売を実施しております。

リサイクル・ループ構築を自社から発信し、地域農業の活性化を目指しています。

主たる作付け農作物

- ・ネギ
- ・玉ねぎ
- ・にんにく
- ・だいこん
- ・みかん

ファーム面積約7000m<sup>2</sup>



**PUBLIC-G.COM**

# 取組み事例④

## 法人農家様での利用促進

株式会社 中大 様

耕作面積：約200,000m<sup>2</sup>

主力作物：ロメインレタス  
にんにく等

## 散布状況



## 作付状況



# 今後の取組み

- ・ **食品リサイクル処理量向上**

近年需要の高まる食品リサイクルの要望に応えるべく処理能力の向上をし、食品廃棄物の受入量・リサイクル率の向上を提供していきます。

- ・ **リサイクルループ構築率向上**

1. 排出事業者様への肥料利用の促進。
2. 各地の農業イベントへの参加。
3. 他社合同での園芸資材イベントの開催。

- ・ **地域密着型の肥料利用促進**

地域の保育所・幼稚園・小学校への課外学習による肥料利用促進。



ご清聴ありがとうございました。

